

令和5年度（令和5年4月1日～至令和6年3月31日）
 学校法人旭星学園 旭川理容美容専門学校 自己評価結果

【 評価 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 】

1. 教育理念・目標

評価項目	自己評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
学校における職業教育その他の教育指導の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

本校の理念・目的・育成人材像は昨年に引き続き理容美容の技術を教える学校として、「心・技・礼」
 心=人と人の関わり、技=技術と知識、礼=実社会で人間関係を築く上で不可欠な礼儀作法。技術の習得だけではなく、心の教育も重視し、生徒一人ひとりと真剣に向き合うように教職員は熱意をもって学生生徒と接している。

2. 学校運営

評価項目	自己評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動などに関する情報公開は適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化や省力化が図られているか	4

本校は、教育基本法及び学校教育法に従い専修学校教育を行い理容師美容師の技能教育の養成施設として常に教育的・社会的・使命を自覚して努力を継続する事を理念に、施設の老朽化は進んでいるが、学生の快適な授業環境の整備を行うように事業計画を考えている

3. 教育活動

評価項目	自己評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベル	4

ルや学習時間の確保は明確にされているか	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
教職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

例年通り教育課程の編成や実施方針等は、本校の教育理念や目標等に沿って策定しており、カリキュラムは、本校の教育理念や目標等の達成に向け、学生が効率よく学べるよう体系的に編集されている。また成績評価や進級・卒業の判定の基準は明確になっている。

旭川市より講師をまねき薬物やDVについて、年金機構より年金制度について、警察署より防犯対策について、消防署から人命救助についての講話や実技を学んでいる。

職業教育等に対し（公社）北海道私立専修学校各種学校連合会や関連分野の企業と連携を行い中学生や高校生を対象に職業体験講座や出前授業、総合的な学習講座を開催している。

理容店・美容店と連携をして学生生徒が実務実習を行っている。職業教育等に対し理事からの現状の理容美容業界についての助言を教育の参考にしている。

業界で活躍する外部講師を招いて学生生徒がスキルアップできるように特別授業を行っている

ネイル検定、サービス接遇実務検定、ライフカラー検定資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけをしている。教職員の能力開発のため、教員資格取得研修会や講話会に参加している。

4. 学生生徒指導等

評価項目	自己評価
基本的生活習慣の確立のため取組が行われているか	3
生徒の安全管理のための取組等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障害のある生徒等への支援など）が行われているか	3
生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	3
進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	3

基本的生活習慣の確立のため学則や学生心得授業出欠席の取扱いに関する細則に基づき入学時に入学生と保護者に説明を行い、その後も都度指導している。

学生生徒とは個人面談を定期的実施し状況把握に努めている。遅刻や、欠席等はその理由により本人と

保護者に密接に連絡を取りながら早期の対応がとれるような態勢をとり主任や教務主任・教頭・校長と報告をしている。学習意欲の低下や生活習慣の見直しなどは、保護者の協力を得ながら退学の防止に取り組んでいる。学生生徒の動向は月1度の全教職員による会議にて個人情報安全かつ適正な取扱いに注意し情報の共有を行い学生が快適に過ごせる環境作りを一丸となって考えている。進学・就職指導は求人票等を常に閲覧できるよう教室に配置し、定期的に理容店・美容店担当者より就職説明会を行っている。

5. 学修成果

評価項目	自己評価
進学率や就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3

令和5年度の本校にダブルライセンスコースとして入学する進学率は19% 就職率は旭川市内59.5% 旭川市外10.8% 北海道外24.3% 進学する者以外95.6%の者が就職することが出来た。退学率は0.95% ネイル検定、サービス接遇実務検定、ライフカラー検定資格取得等資格取得率の向上が図られている。卒業生が理容美容業界で活躍している者や海外で理容美容に従事している者がいる場合、デモンストレーションや講話を開催し教育活動の向上となっている。

6. 学生生徒支援

評価項目	自己評価
学生生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生生徒の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

学生生徒に対する経済的な支援体制は、高等教育無償化制度がある。

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金や国の教育ローン、旭川市、本校と提携している金融機関等を保護者や学生生徒の相談を受け紹介している。また、学生生徒の状況に応じ分割制度も取扱っている。

旭川市に通学できない距離に住む地方の学生生徒を対象に学校独自の給付型の住宅補助制度を設け一人暮らしの支援体制も整えている。

毎年4月に学生生徒の胸部X線の健康診断を行っている。

成績不良の学生生徒については再試験や単位が不足している学生生徒には補習を行い卒業ができる体制を取っている。

7. 教育環境

評価項目	自己評価
施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	4

理容店・美容店と連携をして学生生徒が実務実習を行っている。

防災に対し毎年学生生徒には避難訓練を行っている。施設消防設備については、年に2回業者による点検を行っている。また、災害時の備蓄として飲料水、食料品、寝袋も保管している。

8. 学生生徒の受入れ募集

評価項目	自己評価
学生生徒募集活動は、適正に行われているか	4
学生生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	4

学生生徒募集活動は、学校訪問する際は、事前に約束をしてから訪問をしている。

学生生徒募集活動において、教育活動や学生納付金の金額は、ホームページや学校案内・募集要項・講師紹介チラシ等を配布している。

9. 財務

評価項目	自己評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

本校の理念、経営方針にも基づき顧問税理士と相談をしながら予算・収支計画を策定し、理事会・評議員会の承認を経て執行している。財務については、月次毎の会計点検と年2回の会計監査が適正に行われている。財務情報はホームページで公開している。

10. 法令等の遵守

評価項目	自己評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

11. 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

旭川市と協力して旭川デザインウィークに、オープンキャンパス・キッズ体験を開催した。

地域の社会貢献の一環として、学校近隣の清掃活動を行っている。

学生生徒のボランティアとして旭川市の赤い羽根共同募金運動・献血に協力している。

旭川市地元商店街イベントで子供たちにピエロメイク、花フェスタの花フェスタのフラワーウェディングショー等、地元活性化に協力している。